

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-15)

団体名	(特非) 淡路島ファミリーサポートセンターまあるく	代表者名	代表理事 関 美恵子
事業名	「一時預かり保育担い手確保の為に、アクティブシニア発掘 第2弾」事業		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月15日	おむすび交流の場	6 (3)	「スマホの検索方法を教わろう！」講座&交流会、 講師：神戸大学医学部保健学科在籍 五十嵐守氏 現役大学生が、行きたいお店などをスマホで調べるとき一体どんな方法で検索をかけているのか？等、具体的な方法を実践しながら教わりました。シニアの各自のスマホを使って、ボランティアのママ達も手伝って、InstagramやGoogleマップでの検索方法を教わりました。和気藹々と和やかなムードでシニアと若い世代が交流する事が出来ました。
9月12日	おむすび交流の場	10 (3)	「検索力をあげよう！」講座&交流会 講師：淡路市立図書館パートナーの会 ロボ団神戸北町校教室長 今井伸哉氏 プログラミング教室運営で普段よりデジタル関連の情報収集で検索は欠かせない。講座では講師が普段培っているプロとしての“検索力”をちょこっと教わりながら、質問にも答えて頂きました。プラスアルファの情報が役に立ったとの参加者からの声を頂きました。
10月13日	おむすび交流の場	7 (4)	「キャッシュレスって安全なの？」講座&交流会 講師：NTTdocomoスマホ教室講師 藤原氏 ドコモスマホ教室の講師に特別にキャッシュレス決済の事やスマホのセキュリティ対策のことなど、実際に起こる消費者被害事例などの話しを交えて、スマホを安心安全に使用するノウハウを教えて頂きました。講座の後は、ドコモのスタッフも一緒にシニアの方の疑問質問に丁寧に对应してもらえて、充実した時間となりました。
12月13日	おむすび交流の場	9 (3)	「アクティブシニアの力を味方につけるには?!」 テーマ：淡路市型の子育て支援を一緒に考えよう 参加者：淡路市子育て応援課の担当者、社会福祉協議会の担当者、民間で子育てに関する活動を行っている方、市内在住親子やシニア “子育て支援” に対する思いなどを共有し合いました。付箋を使って交流会でのご意見を台紙に貼り、今回参加出来なかったパパママ達へのメッセージをおむすび交流の場に掲示しました。
1月20日	おむすび交流の場	8 (3)	講師：ベネシードカルチャークラブ スマートフォン&タブレット教室山口氏 講師の作成した資料を基に、メルカリの基本操作ともう少し突っ込んだ内容のお話や、教室でもシニア世代に進めているスマホアプリの紹介など盛りだくさんの内容でお話し頂きました。その後、参加者の疑問質問にも丁寧に答えて頂けて、参加者全員、充実した時間を過ごすことが出来たと喜んで頂きました。 今回の助成事業のチラシを見た市民の方が、まあるく事務所に「メルカリの事って教えてもらえたりするの？」というシニアのご夫婦が現れ、周りのシニア世代もメルカリの事を詳しく教えて欲しいという意見があがり、5回目を追加で実施する事になりました。

## <効果と成果>

どの回も参加してくれるシニア世代の方に楽しんで頂けるような内容を講師と共に具体的に話し合っ決定し、実施した。結果、シニア世代だけではなく参加者全員が楽しめて充実した内容になった。回を追うごとに新たな参加者も増えて、今回のテーマでもある4回目の「アクティブシニアの力を身につけるには？」の回では、行政や連携団体や子育て活動者も参加頂き、シニアや親子も一緒に淡路市での子育てについての要望などをそれぞれが出し合っ、模造紙に付箋でそれぞれが想いを記入して記録を残す事ができた。そして、参加者の中の、シニア世代の3名と、子育て世代の2名が別助成事業で実施している「一時預かり保育事業」の支援者側として実際にボランティア活動して頂け成果が出たと思っている。

## <今後の展望>

発見された課題としては、「保育担い手」でシニア世代をターゲットに置いていたが、別助成事業で実施している「一時預かり保育事業」の実際の担い手の半分は、乳幼児期を過ぎた“子育て世代”や、若い世代の保育士の方となっていて、単純にシニア世代は時間に余裕もあるし、子育て経験もあるからという理由で担い手を探していたが、結果的に若い世代の方が『自分事』として捉えることが出来て、今、子育てで大変な家庭を支えようと思っくださる方が沢山いらっしやるという事がわかった。ですが、多世代交流という取り組みは、今後どの地域でもキーワードになっていくので、形は変わるかもしれないが、淡路市のシニア世代を巻き込む策を探っていくのは今後の課題だと思っっています。

## <収支決算書>

### (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	300,000
自己資金	60,890
合計	360,890

### (支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	謝金・人件費	173,000	173,000
	通信費	33,663	33,663
	消耗品費	50,886	50,886
	その他（会場費・印刷費等）	38,161	38,161
	小 計	295,710	295,710
	間接経費（一般管理費）	65,180	4,290
	合 計	360,890	300,000